

第7回 吉野町地域交通協議会  
議 事 録

日時： 平成22年1月22日(金) 10:00～11:35

場所： 吉野町中央公民館第3・4研修室

出席者：

所 属 ・ 役 職	氏 名	備 考
近畿運輸局奈良運輸支局 運輸企画専門官	廣岡 秀一	
奈良県土木部道路・交通環境課 主事	野田 民樹	
吉野土木事務所 計画調整課長	小西 勝之	
奈良県吉野警察署 交通課長	井筒 琢弥	
吉野町区長連合会 会長	福田 鹿男	
吉野町老人クラブ連合会 会長	南 幸雄	
(社)吉野町社会福祉協議会 副会長	岩城 輔教	
奈良県交通運輸産業労働組合協議会 幹事代理	松石 康志	
社団法人奈良県バス協会 専務理事	西本 光良	
奈良県タクシー協会 専務理事	岩橋 宣禎	
奈良交通株式会社 運転者派遣センター長	中前 浩也	
奈良交通株式会社 吉野営業所 所長	松尾 茂	
奈良交通株式会社 運転者派遣センター運行統括	中井 邦典	
吉野町タクシー協会 上市部会長	戌亥 一男	
吉野町教育委員会 学校教育課長	表谷 充康	
吉野町教育委員会 学校教育課主任	戸毛 祥博	
吉野町 副町長	小松 正	会長
岸野都市交通計画コンサルタント㈱代表取締役	岸野 啓一	
吉野町企画政策課 課長	大北 雅祥	事務局
吉野町企画政策課 課長補佐	上林 勝則	事務局
吉野町企画政策課 主査	井上 紀子	事務局

配布資料

- ・ 議事次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 出席者座席表
- ・ 資料1「吉野町スマイルバスの運行状況と計画の見直しについて(改訂版)」
- ・ 資料2「吉野町スマイルバスの運行改正及び実証運行(2年目)のスケジュール予定」
- ・ 資料3「計画事業(実証運行)に係る事後評価について」

## 1. 開会

## 2. 小松会長あいさつ

本日は、ご多用の中、ご出席くださいますありがとうございます。前回は12月、年の暮れの押し迫った時期に開催させていただき、また、今回新年早々の開催となり、こちらの都合で、無理なお願いにも関わらず皆様にはご参集いただきまして、御礼申し上げます。

さて、本年、平成22年はあらたにスマイルバスとなって、2年目となります。いつも申し上げておりますが、必要最小限の予算で最大限の効果を発揮できるよう、専門分野の皆様からご意見をいただきたいと思っております。また、2年目というのは、吉野町地域公共交通のあり方を固めていく年であると認識しております。本日は、アンケート調査や各ご意見、要望による運行計画見直し案についても、貴重なご意見をいただきたいと思います。本日は最後までどうぞ、よろしく申し上げます。

## 3. 議題

### 【議題内容】

(1) 吉野町スマイルバスの利用実績(平均乗車密度)について・・・資料1(4頁)参照

(コンサルタント会社説明)岸野担当

- ・ 平均乗車密度とは、路線の起点から終点まで、平均したら何人くらい乗車しているかという数字。
- ・ バスの運転手が、それぞれのバス停での乗り降りする乗客の数を記録したものにより、数値を出している。
- ・ 数値は低いように思うが、Bコース等、折り返し運転をしている路線もあるので、平均すると少ない印象になる。
- ・ コミバスに混乗した生徒数が含まれた数字になっている。(一般乗客と切り分けるのが難しいため)
- ・ 8月と10月が少ないのは、8月は学校が夏休み、10月はインフルエンザの影響。

(2) 運行計画見直し(案)について・・・資料1参照

(事務局説明)上林担当

**見直しの考え方** 資料1(15頁)

- 土曜日の運行拡大
- 平日ダイヤの見直し
- 土曜ダイヤの設定
- デマンド方式の導入

## 平日ダイヤの見直し内容 資料1(16頁)

- 所要時間の見直し
- 鉄道との接続
- 龍門巡回線・上市巡回線のルート見直し
- Dルート・町営住宅への対応
- 早朝便の発地の見直し

## 土曜ダイヤの設定

- 運行路線
- 運行時間帯
- 便数・ダイヤ
- 鉄道との接続
- 小型車両の活用

具体的なダイヤ(案)は資料1(18頁~30頁)参照

### 【質疑応答】

#### 委員

- ・ 見直し案については、希望を聞いてのことなので概ね結構。これを実施しながら、今後も見直し等を進めていかれたい。

#### 委員

- ・ 実証運行期間が終わり、国の補助金が打ち切られると予算の確保などはどうなるか。
- ・ 現在、吉野町からの補填はどうなっているのか。また、予算が少なくなると、運行計画を縮小することになるか。

#### (回答)事務局

- ・ スマイルバスは一般会計の中の事業として運行している。原資となるのは運賃収入。また、国からの交付税の中にスクールバスの経費が見込まれており、それも算入されているが、実証運行中の現在でも補填が必要となっている。
- ・ 民間会社が撤退している通り、利用者数の減少によって見合うだけの収入はないが、吉野町の行政サービスとして運行している。
- ・ 補填する額にも限界はある。住民の要望、便利さ、経費がつりあうところを考える必要がある。
- ・ 一般財源を投入する額が最小になるよう、乗車人数を増やすことや効率化を図ることなど、模索しているが、路線縮小など要望に応えられない場合も出てくる可能性がある。最終年度に見極める。
- ・ 今後も、少なくとも1千万位の一般財源の投入は続くと思われる。
- ・ タクシー券など、福祉施策として行うということも考えないといけない。

委員

- ・今後もコンサルタント会社は入るのか。

(回答)事務局

- ・ 運行ダイヤが複雑になってきたので、専門的な知識を持ったコンサルの手助けが、実証運行後も必要になる可能性はある。

委員

- ・ 今回の改正で、立野の中道の運行はありがたい。今後も利用者の意見を聞いてほしい。

委員

- ・ 今回の改正案について、運転者への配慮があり、住民の意見を集約してダイヤ設定がなされている。今後の2年間、実証実験を重ねながら、進めていかれたい。

委員

- ・ 上市駅に午前7時頃に到着する便が多いが、駅前は広いのか。

(回答)事務局

- ・ はい。数年前に整備して、ロータリーを作っている。大淀町や川上村のバス、タクシーなども入っているが、特にトラブルはない。
- ・ 高校生等の朝の送り迎えの自家用車でいっぱいになる時がある。送り迎えの代わりに高校生がバスを利用してくれたらよいのだが。

委員

- ・ デマンドは具体的にはどんな方法で実施されるのか。

(回答)事務局

- ・ 事前予約。前日の夜8時までに運行事業者に電話予約があった場合のみ運行。運行時間は定時を設定。

委員

- ・ 地域輸送は手作りで作るとというのが前提であると思う。自分たちでできるところは自分たちでという姿勢が、費用削減に繋がっていく。
- ・ 事業を住民やボランティアに手伝ってもらうことも考え、洗い直しの必要がある。例えば、回数券の販売場所が少ないという意見があるが、販売を老人会等に委託するなどしてはどうか。
- ・ デマンドは手間のかかること。運行時間が要望に一致しないなど、細かい問題が出てくる。運行事業者では調整しにくい問題も出てくるので、住民参加型の地域輸送を考える必要がある。
- ・ 収支がつりあうということは考えられないので、正しく費用対効果を検証する必要がある。

委員

- ・ 飯貝、六田、上市中道の時間遅れが心配。対向車があった場合など、時間がかかる時があるので、配慮をお願い。

委員

- ・ 中学校の下校バスが以前より、4分早まっているが、下校時の数分は貴重になるので、調整をお願い。
- ・ 新年度から児童・生徒の利用が減るが、満員になる場合があるかもしれないので配車の調整をお願いする。

(回答)事務局

- ・ 調整、対応していく。

委員

- ・ 運行所要時間も短縮され、おおむね安全に運行できると思う。
- ・ 近隣町村でも単独でバスを運行しているが、定期バスも含めて、過疎化で利用者が減っているので、今後近隣の市町村と連携してバスの接続運行を広域的にお考えいただきたい。

委員

- ・ 安全面について最大限努力する。

委員

- ・ 6月からの新体系となり、今のところ評価をいただいております、今後も安全管理に勤める。
- ・ 路線バスの方では迷惑を掛けることもあるかと思うがよろしく願いしたい。

委員

- ・ 交通事故はもちろん車内での怪我やバス停での乗降時の事故の防止に努めていただきたい。
- ・ 利用促進のPR時や、運転手からの乗客へ、車内での注意喚起についても改めてお願いしたい。

委員

- ・ 道路の管理という面で、必要なことがあれば、事務局でまとめていただき、対応する。

委員

- ・ 予算について。生活交通の確保について、複数市町村にまたがる広域的な事業については県で役割を担う。単独では活性化事業等を活用して市町村が役割を担っている。実証運行後については他の市町村からも相談があり、現在検討段階であ

るが、実証運行の中で利用が右肩上がりの事例については県でも支援する制度を設けたいと考えている。

#### 委員

- ・ 各協議会の来年度の要望調査の結果はまだ返ってきていないが、奈良県でも計画事業が増えている。
- ・ 先日各協議会に総括していただいた再生事業の考え方には大変厳しいものがある。おそらく来年度の交付申請に査定が入るのではないかと考えている。
- ・ 住民参加型で、右肩あがりの事業でないと厳しい。吉野町においてはアンケート等住民の意見を聞いて、良い計画を作っているが、今後もさらに最小限の予算で最大限の効果という姿勢を進めていかれたい。

(3) 今後のスケジュールについて・・・資料2 参照

(事務局説明) 上林担当

#### 【質疑応答】

#### 委員

- ・ スケジュールに入っていないようだが、デマンド運転に関して周知はどのようにするか。

(回答) 事務局

- ・ 関係地域での地元説明会を開く。デマンドの詳しい方法を説明。広報誌等にも掲載する予定。

#### 委員

- ・ 行政手続き上前倒しして行わないと間に合わないのではないか。

#### 委員

- ・ 自家用有償旅客運送の変更であるので2月初旬に手続きしていただければ間に合う。

(4) 計画事業(実証運行)に係る事後評価について・・・資料3

(事務局説明) 上林担当

#### 【運行計画見直し案について委員承認】

#### 事務局

慎重審議ありがとうございました。今後事務手続き上、運輸支局様や運行事業者様との打ち合わせ等がありますが、よろしく申し上げます。